

香川ファイブアローズ ブースターミーティング

2019年8月18日(日) 16:00～

場所：牟礼総合体育館 会議室

登壇 クラブ代表 村上直実

参加ブースター26名

村上代表挨拶（全文）

こんにちは。香川ファイブアローズの代表をしております。村上と申します。今日は日曜日でお休みのところ、この会に出席して頂き本当にありがとうございます。今回、衛藤 HC の暴言暴行があったこと、そのことについてフロント代表である私を含め、運営の方にも抑止できなかったということで B リーグから制裁決定をうけたところでございます。ブースターさんの皆様、スポンサーの皆様、その他多くの方々、せっかくファイブアローズを応援して頂いている皆様に、本当に水を差すような、足を引っ張るようなことで、チームの代表、管理者として本当に深く反省しております。本当に申し訳ございませんでした。今後は、今まで以上にチームとフロントのコミュニケーション、互いの意思疎通をもっと積極的にやっていく必要があると思っています。その点が抜けていたということが、今回の事案の中で分かってきたことで、反省しながら、より変わっていくファイブアローズにしたいと思っておりますので、引き続きご支援ご声援をお願い致します。本日は、ありがとうございました。

ブースターミーティング要旨

Q：風通しの良いというのを言っているが、具体性はあるのか。いつ頃にできるのか。

A：匿名で選手が意見を言える仕組みを考えている。できるだけ早く。

Q：現実論として、選手が意見を言える雰囲気は難しいと思うので、フロントのスタッフを含めて、現場に目をおける人間がいたほうがいいのではないか。そういうことが大事なことでないか。

A：意見が選手から出なかったのは、選手が私を信用していないからだと思う。匿名でもいいから、なんでも言えるようにしたい。現場に行く機会がなかったのも抑止できなかった原因でもある。チームスタッフも増えるので、そこも意見がだせるようにしていきたい。

Q：ブースターに対して直接話す場を設けたのはなぜ。

A：ブースター様にはいつも応援して頂いているため、記者会見だけの情報ではなく、直接お話をさせて頂こうと思った。

Q：次シーズンをどのように運営していくかが気になるので、話せる範囲で教えてほしい。

A：コーチの選定には、選手の意見も取り入れてほしいという意見があり、選手の要望も踏まえて、一緒にやっていくコーチをクラブで契約して就任してもらっている。

Q：昨シーズンまでは黒字にしていくというのが命題になっていたと思うが、現時点でのテーマはどうなっているのか。そこがブレないのであれば応援するだけ。

A：昨年西地区最下位だったこと、選手が少なく連敗が続いたことがあったので、まずは、二つ上を目指すこと。その方向性で選手を入れてきている。3位4位を目指す。

Q：香川県の建設予定の体育館ができないと、B1に上がれないからそういう目標なのか。落としてもいい試合は落としてもいいと思っているのか。

A：現状、運営も厳しいので、最終的にはB1へいきたいと思っているが、すぐには難しい。そういうわけではない。勝たなくてもいいというわけではないが、他チームの戦力等も踏まえて足元をみていく必要があると思っている。

Q：スポンサーの状況は去年と比べてどうなのか。

A：獲得したスポンサー様もいれば、この事件の前にスポンサーをひくところもあった。スポンサー収入については、楽観視できないと思っている。従来通りにスポンサー営業については動いていく。

Q：今回の件での記者会見後にスポンサーになってくれたところはあるのか。

A：1社ある。しかし、今後どうなっていくかは分からない。

Q：時系列がよく分からないので、事件が発生した経緯を教えてほしい。

A：Bリーグにコーチの指導に問題があるのではないかと話が上って、チェアマンから私に話があった。それが2年前。その時は調査というよりは、注意してほしいとチェアマンから言われた。その時に選手2名とコーチに聞き取りはした。今年の5月からBリーグがヒアリングを始めて、選手からの聞き取りで、暴力が発覚した。

Q：暴力行為については2017-18シーズンなぜ今出てきたのか。

A：今回リーグのヒアリングの結果で分かった。2018年1月ごろに選手・コーチに話を聞いたときは、暴力行為はなかったといわれた。

Q：今日、津田さんはなぜいないか。

A：球団としてお詫びの場として私が代表してきた。

Q: 津田さんが謝罪をする機会が他にあるのか。社長は辞任する意思があると聞いているが、津田さんは続投の意思がある。津田先生の役割がよくわからない。一番は株主やスポンサー様へ真っ先に謝罪しないといけないと思うがまだ謝罪していないのは、いつするのか。今回チームがなくなる可能性があるくらい大変な事態であることを本当に分かっているのか。

A: スポンサー様には一部にはすでに謝罪している。お盆休みも間にあったこともあり、明日月曜日からスポンサー様には謝罪する。

Q: 社長の辞任後の後任はいるのか。

A: 辞職で身分がなくなるわけではない。関係各社と後任の人選を含めて相談し進めている。

Q: 津田さんの継続について検討してほしい。

A: HC がいなくなって、チームが動揺している中で、全部なくしてチームをガタガタにしたいくない。

Q: スタッフ増員は考えているのか。

A: 増員はしている。

Q: 津田さんが、チームに同行しておいて何も感知していないというのはなぜ。試合やロッカールームにいなかったのはなぜ。

A: 本人が現場にいなかったと知っているもので、私からは何とも言えない。

Q: 津田さんが残ることでチームがよくなるとは思えない。残るなら、残るとしての体制をちゃんとしてほしい。結果を残せない HC を残して、3年目までひっぱって、どこかで線引きをしかないといけないと思うのに、結果的に今回のようなことになっている。アローズが勝てる体制をしっかりとしてほしい。能力的に支えられる人をベンチに置いてほしい。噂があったにも関わらず、今年もコーチを就任させたのはなぜか。リーグに話がいくくらい、衛藤 HC のことを絶対的に NO といった人がいることを忘れないで。

A: 衛藤 HC は問題を起こしたのは事実ですが、今期の反省を踏まえて来季頑張りたいという意思を尊重していた。

Q: 後任の HC はプロの経験ある方なのか。

A: AC を B リーグでやっていた方。

Q：津田さんが衛藤 HC に変わって制裁を受けたいというようなことを言っているが、まだ衛藤 HC を擁護しているのか。

A：津田さんは衛藤 HC の力量を高くかっていたようだ。

Q：ベテラン選手がいなくて、若い選手だけでチームとしてやっていけるか。

A：シーズンの 60 試合こなすために、若くないと厳しいという認識でいる。

Q：今シーズンに入るにあたって、スタッフの入れ替わりがあったと思うが、昨シーズンに比べて情報発信が減ったと思う。シーズン始まるまでの間は特に重要になってくると思う。極力こまめに情報発信したほうがいい。情報が知りたい人が多いと思う。情報発信されていないと、何か起きてても、分からない。スタッフの補強は意識した方がいい。

A：情報発信については必要だと思っている。

Q：ファンとチームとの距離が近いのが魅力でもあるので、細かいことでも発信してほしい。スポーツのコンプライアンスの考え方が変わってきているのはあるが、昔の感覚のままの常識は通用しないのはチームとしても分かるとかかないといけないと思う。

A：コンプライアンスが変わるなか選手も変わらないといけないと感じている。

Q：衛藤さんにこういった問題があったのに、契約継続を決めるのは社長の一存なのか。誰かと相談して決めるのか。批判的な目でチェックする人はいなかったのか。

A：結果論としては、いなかった。私の能力がなかった。バスケにも詳しい部長と相談しながら来季も続投の契約をした。

Q：GM として、チーム側の責任をとる人が必要だと思うが、そういう人はおかないのか。

A：財政的に厳しい。

Q：津田さんになってもらうのはできないのか。

A：それは正直なところ難しい。形だけでおくのでは意味がなく、GM の業務ができる人ではないと意味がない。

Q：選手の中に体調不良になった選手がいて、衛藤 HC がほかの選手に対してその選手のフォローを頼むとか言っていたのを記事で読んだが、津田さんは見ていなかったのか。選手から声が上がらなかったのか。

A：コーチ曰くその選手を強くしたいという練習を繰り返した中で、吐き気をもよおした。暴力によるものではない。津田さんは見ていない。

Q：高校とかではそういったことで自殺者がでたりしているし、深刻な問題になってくるかと思うが、新しい HC と津田さん続行するという中で、同じことがないようにするとは思いますが、今後どうする考えか。

A：練習も含めて、フロントスタッフが足を運ぶとか、遠征にフロントもついていくとか。選手名が出ないように気を付けて、フロントがコミュニケーションをとれるようにする。

Q：社長は衛藤さんの手腕をにかけているというが、勝率は知っているか。

A：手腕があるというのは、若いいい選手を獲得してくること。

Q：勝てない HC というのは手腕があるといっちはいけない。

A：選手の力量も考えて、選手を見つけてくる力を評価していた。

Q：暴行をみていた津田さんはどうなのか。

A：本人は見えていないといっているの。私からは何も言えない。

Q：不法行為をしたものを、チームが就任するように決めたというのは、津田さんが残るのは、そういうチームをスポンサーするスポンサーに対して迷惑かける大事だと考えてほしい。最初に話が出たときに電話1本で済ました LEAGUE 側にも責任をとってほしいくらい。

A：暴力行為については、5月から始まったリーグのヒアリングで出てきたこと。コーチ就任を決めた後に分かったこと。この点をご理解頂きたい。

Q：5月に契約の話はしていたかもしれないが、リリースが出てこちら側が就任を知ったのは7月。そもそもなぜ5月の契約のリリースが7月なのか。どちらにしろ、5月にその話がある段階で契約でしたというフロント側へ不信感がめっちゃめっちゃある。フロント側への不信感しかない。そこを改善してほしい。ちゃんと開幕を迎えてもらえることが希望。不信感しかないなかでスタートすることを、後任の社長へもそれを伝えてほしい。

A：はい。それは伝えておく。

Q：選手側へフロントから話はしたと思うが、選手はどんな反応しているのか。

A：選手へは謝罪した。HC の選定について、選手たちの思いも聞いてほしいという意見があり、それを参考にしながら、今回のコーチを決めていった。

Q：現実問題、選手足りないと思うが、どこまで進んでいるか。

A：日本人選手9名。外国籍選手2名で決まっている。あと一人日本人選手はどうするか。もう一人の外国籍選手はどうするかは検討段階。

Q：リリースは？

A：新チームスタッフ体制と外国籍選手については19日リリース予定。

Q：公開練習はするのか。戦術的な部分以外の短時間でいいので多くしてほしい。

A：コーチと相談して、できるだけしていきたい。

Q：開幕はできるのか。

A：チームもフロントも開幕にむかって進んでいるので大丈夫。

Q：開幕に向かってブースターにできることを教えて。開幕にむけてできることがあったら協力させてください。

A：ポスターチラシの配布等にもご協力頂けると助かると思っている。何らかの形でご協力頂きたい。

Q：今後透明性のある組織にむけて、社内では話しているのか。

A：フロントが選手にあゆみよっていく。匿名の情報提供の場もしていきたい。選手とのヒアリングの場、選手とのコミュニケーションをとるチャンネルを増やしたい。

Q：選手からの意見が集まったとして、誰が処理するのか。全部スタッフが処理できないと思う。情報のカテゴリわけで基準を明確にして、適切な対応できるようにしてほしい。

A：そこまでの組織は厳しい部分があるが、情報を対応できるスタッフをおいていきたい。

Q：明確な基準があるほうが再発防止にもなると思うので、組織として基準をおいてほしい。

A：今後、考えていきたい。

Q：その基準の公開は可能か。

A：基準を作ったら公開していきたい。

Q：改善したことを、ホームページでもいいので、やったかどうかの報告をしてほしい。要望があったことに対してリアクションしてほしい。選手のコンディションを第一に考えて、2日連続土日開催の土曜夜のイベントの開催は検討してほしい。

A：一つのご意見として、今後検討する。

Q：今後、選手の権利として契約書に明記してほしい。

A：明記するのは難しくない。形としてはできるが、もっと匿名で選手が意見言えるような仕組み作りが大事かと思っている。

Q：これから向かうスポンサーさんから当然何か言われると思う。今日のことを踏まえて再発防止策等を伝えてほしい。経営側として、いかに社長の思いやチームの思いを実行していくかということをお願いしたい。

A：スポンサー様には今言われたようなこと、今回のご意見も含めてお伝えしたい。

Q：今シーズンで債務は返せるのか。

A：6月の決算を踏まえて、具体的にどのくらいが債務となるのかをみていくので、はっきり20年6月で解消できるとは今のところは言えない。もちろん解消に向かって動いていくが、解消できるとは現段階で言えない。

村上代表挨拶

お忙しいなかありがとうございます。皆様から頂いたご意見に関して全てをすぐ実行はできないかもしれないが、皆さんに心配して頂いている、応援して頂いている。皆さんの熱意や気持ちを裏切らないように、努力していきますので、応援お願い致します。

本日はありがとうございました。